

科学・環境

把握



かたち

研究主題 新たな「知」を創造する児童の育成をめざして
～未来ものづくり科のためのカリキュラム開発～



地域・伝統

発想

御挨拶



幸せ

「（仮称）未来ものづくり科」の新設に向けて

大田区教育委員会
教育長 小黒 仁史

本校は、令和2・3年度大田区教育委員会教育研究推進校として、「新たな『知』を創造する児童の育成をめざして～未来ものづくり科のためのカリキュラム開発～」を研究主題として掲げ、実践的な研究を重ねてられました。ここに2年間の研究をまとめ、その成果を発表していただくことに心より感謝申し上げます。

さて、大田区には言わずと知れた「ものづくりのまち」という特色があり、オンリーワンの優れた技術をもっている事業所が多くあります。このような地域の教材を生かし、大田区立小学校における「（仮称）未来ものづくり科」の新設を推進しています。「（仮称）未来ものづくり科」では、問題を見だし、身に付けた知識・技能や、他者との関わり等から得た情報を活用し、試行錯誤を重ねることにより、よりよい未来社会を創るために創造的に考える資質・能力を育成することを目指します。これは、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、予測が困難な時代となっており、IoT、AI、ロボット等による社会変革により到来する豊かな未来社会Society5.0を目指す中において、未来の社会を切り開いていく人材の育成が求められていることと大きく関連していると考えます。本校には、全学年、全学級において様々なカリキュラムの検証授業を実践していただき、たくさんの成果を出していただきました。大田区にいたしましては、この研究の成果を生かし、大田区立小学校における「（仮称）未来ものづくり科」の新設に向けて取組んでまいります。

結びになりますが、本校の研究に際しまして御指導・御助言をいただきました、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 齋藤 博伸先生に厚く御礼申し上げます。また、本研究に取り組まれました道塚小学校 大場 寿子 校長先生をはじめ教職員の方々、さらに、本研究に御理解・御協力をいただきました保護者、地域、関係者の皆様に深く感謝申し上げ、挨拶といたします。

新たな価値をつくり出せる子どもたちを育てるための地域連携・校内研究改善・授業力向上をめざして

大田区立道塚小学校
校長 大場 寿子

本校は、「ものづくりのまち」大田区の特色を生かし、文部科学省の教育課程特例校制度を活用した大田区の独自の教科「未来ものづくり科」の新設に向け、内容（カリキュラム）とその構成について2年間にわたって研究してきました。特に、地域にあるものづくりに従事している方々と学校が連携すること、ものづくりに従事している方々と教員自身も真摯に向き合い取材することを大事にしてきました。そして、その出会いの中で生み出された新たな価値・授業こそが、子どもにとって未来を生きる力になると信じて取り組んできました。

また、大田区立小学校の5、6年「未来ものづくり科」の実施に向けて、準備する学校に必要な情報や手順をできるだけ共有化できるように研究を進めました。そのため全学年全学級が違った単元開発を実施し授業提案しております。それは、校内研究の在り方、学習指導案のかたちを含め今後の校内研究の在り方そのものにも踏み込み、教員自身一人一人の資質・能力と授業力の向上を目指しました。研究はまだまだ道半ばではありますが、これまでに得られた成果をご覧いただき、各学校の取組に生かしていただければ幸いです。本研究に際して御指導いただきました文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 齋藤 博伸 先生はじめ多くの講師の先生方にも心より厚く御礼申し上げます。そして、研究の機会を与えてくださいました大田区教育委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年10月15日(金) 大田区立道塚小学校